kintone × RPAが気になったら

お気軽にお問い合わせください!

こんな方におすすめ

- kintoneとRPAの連携についてもっと詳しく知りたい
- 自社の業務に合った使い方ができるのか確かめたい
- すでにRPAまたはkintoneを使用しているが
  もっと導入効果を高めたい

ご相談窓口はこちら 電話やメールでのご相談も受付しております

オンラインでのご相談

https://kintone.cybozu.co.jp/consult/

お電話でのご相談

03-6633-2688 月～金(年末年始･祝日除く) 10:00-12:00 / 13:00-17:30

RPAを導入するなら

kintone×RPAで

かんたん開発!劇的改善!

cybozu

サービスに関するお問い合わせは、kintone Webサイトへ
https://kintone.cybozu.co.jp/

※サイボウズ、cybozu、kintone およびサイボウズのロゴマークはサイボウズ株式会社の登録商標または商標です。
※記載された商品名、各製品名は各社の登録商標または商標です。また、当社製品には他社の著作物が含まれていることがあります。
https://cybozu.co.jp/logotypes/trademark/
(c) Cybozu,Inc.

お問い合わせ先

KI-RP-002-2309 本カタログの記載事項は変更になる場合がございます。 2023年9月版

キントーン
kintone

はじめに

本書は、これからRPA（Robotic Process Automation）の導入を考えている方や、すでに導入しているがもっと使いこなしたいと考えている方、また、kintone（キントーン）の導入効果をもっと高めたいと考えている方向けの資料です。自動化により業務効率の向上が期待できると、多くの企業で導入が進んでいるRPA。一方で陥りがちな課題があることもわかってきました。ここでは、RPA導入・運用でよくある課題と解決策、事例をご紹介します。kintoneとRPAの導入を成功させたいと感じている方は、ぜひ参考にしてください。

INDEX

はじめに・目次		P01
RPA を有効活用し大幅な効率化を目指すカギは kintone との連携		P02
業務効率化を実感できない…現場の RPA お悩みあるある		P03
成功するためのポイント		P04 - P06
kintone を選びたい理由		P07 - P08
あなたはどのRPAを選ぶ?	kintone×BizRobo! の導入事例とポイント	P09 - P10
	kintone×UiPath の導入事例とポイント	P11 - P12
	kintone×Coopel の導入事例とポイント	P13 - P14
導入相談		裏表紙

RPAを有効活用し大幅な効率化を目指すカギはkintoneとの連携

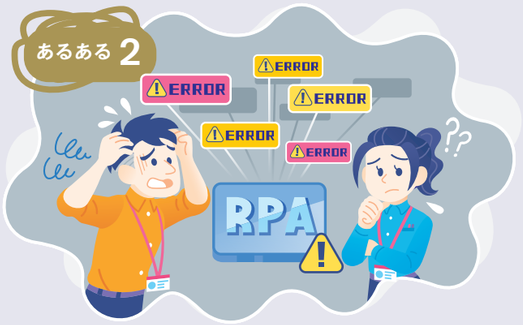
業務の効率化は、IT活用の大きな目的の1つ。すでに様々な業務がITによって効率化されていますが、それをさらに加速させるのがRPAです。工場で様々な単純作業をロボットが担っているように、オフィスでもデータ入力のようなルーティン業務をロボットに任せて効率化を図っています。
しかし、RPAによって業務を最大限に効率化するにはいくつかの重要なポイントがあります。例えば、RPAで自動化すべき業務の整理。あらかじめ業務の手順を整理できていないと、ロボットへの指示が複雑になり、結果、エラーが頻発するロボットになってしまいます。
そこで有効なのが業務プロセスの整理・改善を支えたり、脱Excelを実現したりするkintoneとの連携。kintoneの有効活用がRPAの導入成功のカギを握っています。

業務効率化を実感できない…
現場のRPAお悩みあるある

簡単という評判だったのに…
思っていたより難しい
ロボット開発

簡単だと評判の RPA ツールを導入し、ロボット開発を内製することに。しかし、思っていたより難しい…。ツールのせいではなく、業務が整理できていないことが原因だ。自動化できると思っていた業務が予想より複雑だったり、人によってやり方が違ったりして、ロボット開発に手間取っている。

成功のポイントは P04 へ



安心して仕事を任せられない…
頻繁に停止してしまうロボット

ロボットがまた停止している…。原因を調べると、参照する Excel ファイルの名前が変わったことでエラーが起きていたようだ。こんなにエラーが起こる上、原因を特定するのにも時間がかかるのなら、人がやったほうが楽なのでは?エラーが頻発するロボットに悩む企業は少なくない。

成功のポイントは P05へ

Excel から kintone に
移行したものの
作業時間がなかなか減らない

紙や Excel で行っていた業務を kintone に移行。情報の共有や作業の見える化はできるようになったものの、膨大な量のデータ入力などは変わらず手作業で行っている。もっと劇的に効率化されると期待していたけれど、時間のかかる作業がそのままでは、抜本的な業務改革にはつながらない。

成功のポイントは P06 へ

1 まずは複雑な業務をシンプルに!
簡単開発のカギは業務の整理と見える化

ロボット開発で初めにやるべきは、業務手順の整理です。「Excelに書かれているWebサイトにアクセス」「サイト内の数値を確認」「数値を別のExcelに記載」「複数のExcelの数値を集計」「結果をシステムに入力」。こんな細切れで複雑な業務を、そのままロボットにするのは大変。ましてや、業務が属人化していて、手順を洗い出すだけで膨大な時間がかかるようでは、ロボット開発は進みません。

RPA導入を成功させる最初の一歩は、kintoneの得意分野である業務の整理と見える化です。ツールの使い分けをなくして業務をシンプルにしたり、情報やコミュニケーションを集約したりすることで、ロボットを開発しやすい環境にしましょう。

2 kintoneで業務をシステム化 停止しにくいロボットを開発

ロボットを動かしているのは「いつ」「どこで」「何をするか」という指示。「この名前のファイルを開く」といった指示をしている場合、ファイル名やファイルの保管場所が変わってしまうとロボットは停止してしまいます。

エラーが起きにくいロボットを作るカギは、いかに変化の影響を受けづらいシンプルな指示を設定するか。そこで活用したいのがkintoneです。

kintoneで業務をシステム化すれば、ロボットへの指示がシンプルになり、エラーが起きにくくなります。例えば「どこ」は、ファイル名やフォルダの階層ではなく、URLによって一発で指示することが可能。これなら、ファイル名やファイルの保管場所の変更によってロボットが止まるリスクはありません。

さらに、指示をシンプルすることで、エラーが起こってもどこで問題が生じているのか特定しやすく、ロボットのメンテナンス性も高まります。

kintone×RPAで
エラー・停止しにくいロボット開発を実現!

3 脱Excel & 脱ルーティン業務 kintone×RPAで大幅な効率化を実現

同時作業ができない、ファイル管理が大変、重くなって動きが悪いなど、課題の多かったExcel業務をkintoneに移行。Excelの課題は解決したものの、手作業での入力などアナログな業務は残ったまま。業務全体の効率を劇的に上げたいけれど、どうすれば…。

こんな場面で有効なのがRPAとの組み合わせです。kintoneへの入力やkintoneから別のシステムへの転記など、単純な定型業務をRPAで自動化することで、業務効率を大幅にアップできます。

ここまでお伝えした通り、kintoneで業務を整理・システム化することでロボット開発がしやすくなるなど、RPAとkintoneは組み合わせるメリットが豊富にあります。kintone×RPAで大幅な業務効率化を実現してはいかがでしょうか。

kintone×RPAで
業務効率を大幅にアップ!

RPAをもっと便利に使うために kintoneを選びたい理由 4

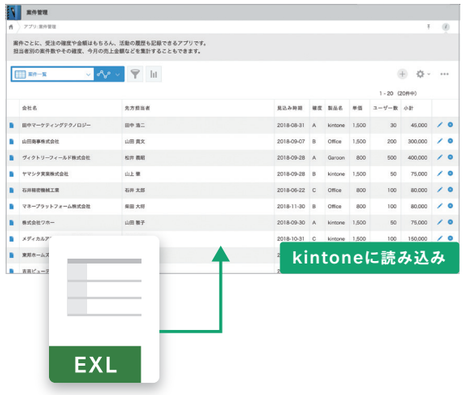
1

RPA運用の前に! あらゆる業務をkintoneで脱アナログ

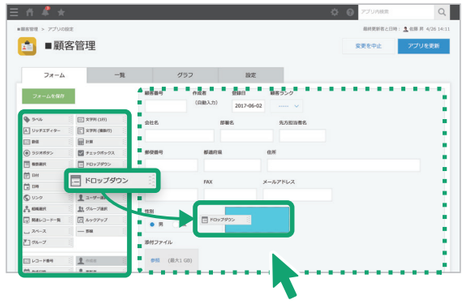
顧客情報管理やファイル管理など、紙やExcelで行っていた業務を簡単にkintoneのアプリにすることが可能です。ExcelやCSVファイルは読み込むだけでkintone化、すぐにつかえるテンプレートは100種類以上、ドラッグ&ドロップでかんたんに業務アプリをつくれます。
そのままではRPAで自動化できないアナログ業務をシステム化し整理することができます。

アプリ作成後も、項目の変更や追加がかんたん!
システムの専門知識がなくても、現場主導ですばやく変化に合わせて改良することが可能です。

Excelを読み込むだけで業務アプリに



ドラッグ&ドロップでかんたんに業務アプリを改良できる



すぐに使える業務アプリテンプレートは100種類以上!

売上管理　日報　交通費申請　タスク管理　採用管理　有給申請

100以上の用途に使える! どれだけ使っても月1,500円(※)

※税抜価格。1ユーザーあたりの価格。5ユーザーから契約可能。

2

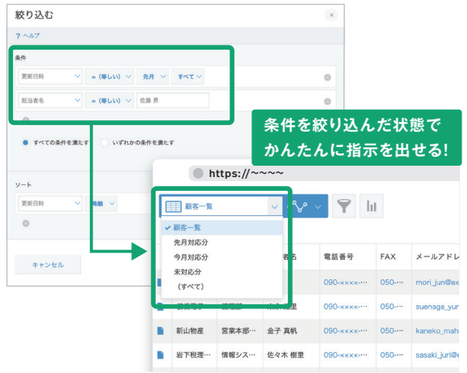
統一されたフォーマットでロボットがエラーを起こしにくいデータ管理を実現

設定された項目に沿って必要事項を入力していくだけでデータ登録が完了。
作業者によってフォーマットがバラバラにならず、ロボットがエラーを起こしにくいデータ管理が可能です。

3

いつ、どこで、何をするかロボットに指示しやすい

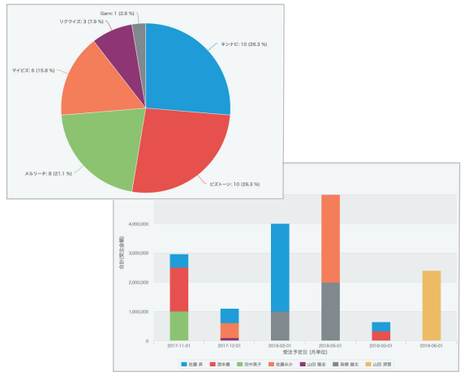
例えば「どこ」を参照すべきかは、URLによって一発で指示することが可能です。
Excelだと条件を絞ってロボットを動かすのは指示が複雑になり大変ですが、kintoneなら条件を絞り込んだ一覧を複数用意できるので、ロボットにシンプルな指示を出すことができます。



4

業務の自動化だけじゃない収集したデータを素早くグラフにして見える化

kintoneのアプリに溜めたデータは集計してグラフにすることができます。
リアルタイムにデータがグラフに反映されるので、RPAで収集したデータをすぐにグラフで確認することができます。



あなたはどのRPAを選ぶ?

kintone×BizRobo!

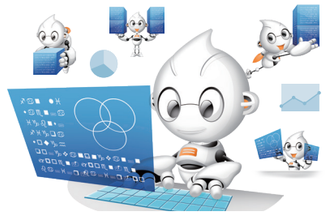
BizRobo!

POINT 1 独自の価格体系で圧倒的な費用対効果を実現

BizRobo!は開発環境と実行環境をオールインワンで提供。開発者や実行ロボットを増やす際の追加コストの心配も無用。複雑な価格体系の理解やコストの悩みから解放します。

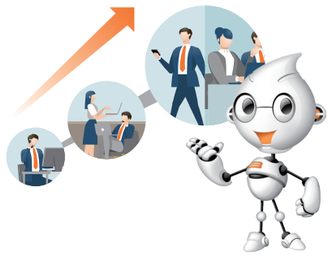
POINT 2 ロボットの作成や実行などあらゆることを自在に

BizRobo!は、ロボットやユーザーを一元管理できるため、統制のとれたプロジェクトの進行が可能。また、特定の場所に縛られることなく開発していくことができるためリモートワークにも適しています。



POINT 3 導入から活用拡大まで専任体制でご支援

RPAは導入することがゴールではなく、ロボットを開発運用する体制を整えることが重要です。専任の支援体制はもちろん、これまで10年以上にわたり蓄積してきた開発のTIPSや推進のコツをユーザーコミュニティでシェアしながら、伴走支援いたします。



POINT 4 kintoneと連携して現場で定型業務を自動化

kintoneと基幹システムやSaaSなどの連携をBizRobo!で自動化することで業務を効率化。現場で見積書作成、受発注処理や勤怠管理などあらゆる定型業務の自動化を実現。

もっと詳しく! https://rpa-technologies.com/products/first 1ヶ月無料トライアル実施中

kintone × BizRobo!で

膨大な業務データの収集・集計を1〜2時間に短縮! 勤怠データの収集・集計を自動化

正確な労働時間を把握し、残業時間を大幅削減

企業名:一般財団法人 建材試験センター
企業規模:約240名
業種:建設
利用目的:勤怠データ管理

一般財団法人建材試験センター
総務部 総務部長 荻原 明美 氏
総務課長 石井 俊靖 氏
総務課主任 藤沢 有未 氏

背景・課題 働き方改革の一環として労働時間を可視化 実労働時間と申請労働時間の乖離を是正する

1963年に発足した一般財団法人建材試験センター(JTCCM)。建材や建築・土木に関する試験・認証・評価・証明などを行っている。現在、同センターは、日本橋のオフィスや埼玉県草加市の中央試験所などで働く約240名の職員の働き方改革を推進している。その一環として取り組んだのが労働時間の可視化だ。

「タイムカードを打刻した後もなんとなく残業してしまうなど、所属長・管理者がまったく意図しないかたちで、いわゆる"サービス残業"のような時間外労働が発生している——。そんな話が常々持ち上がっていました。そこで、職員の『実労働時間』と『申請労働時間』との乖離の是正することにしたのです」(石井氏)

ツール選定 選定の決め手は使いやすさと負担の少ない価格設定

実労働時間と申請労働時間の乖離を明らかにするには、PCの利用状況、タイムカードの情報、申請された残業時間という3つの勤怠データを比較し、大きな差がないかを確認する必要がある。しかし、その収集や集計を手作業で行うとなると手間や時間がかかってしまう。そこで、同社が導入することにしたのがRPAツールのBizRobo!だ。「導入前に実際に操作し、利便性と使いやすさを体験しました」(石井氏)加えて、2年目以降はライセンス費用のみなど、中長期的に負担の少ない価格設定も決め手になった。その上で運用検討を行った結果、BizRobo!で収集したデータをkintoneに集めることで、勤怠データの収集から集計までを自動化し、効率的に労働時間を可視化することに決定した。

導入効果 人手なら1日でも終わらない作業が1〜2時間程度で完了 正確な労働時間可視化により残業時間を大幅に削減

現在、同センターはBizRobo!とkintoneを使って、PCのログ管理システムが持つ利用時間(ログイン・ログアウト)、就業管理システムのタイムカードの打刻時間(出社・退社)、残業申請時間の収集、kintoneへのアップロード、データの集計までを自動化している。

「毎日1〜2時間ほど1台のBizRobo!が稼働しています。kintoneに集まった勤務状況を確認し、実労働時間とタイムカードや残業申請との間に一定の差異があった場合は、対象者(所属長)にメールでフィードバックが行われます。もし、同じ工程を人手で行ったとしたら、とても1日では終わりません」(藤沢氏)

この仕組みによって、実労働時間と申請労働時間の間に大きな乖離が生じている職員はほとんどゼロになった。

「月30時間以上の残業をしている人は大幅に減り、平均でも10時間程度になっています。サービス残業や業務外の居残りも減少しました。また、テレワーク勤務時でも集計可能なので、在宅での業務のやりすぎ防止にも役に立っています」(藤沢氏)

「これまではなんとなくしかわからなかった実労働時間を正確に可視化でき、所属長・管理者も部下に適切なアプローチを行いやすくなっているようです」(萩原氏)

今後も同社は運用の改善を図りながら、BizRobo!とkintoneを有効活用し、さらなる業務の効率化を図っていく構えだ。

「当センターは全国に事業所を置いています。各事業所の基幹システムとBizRobo!を連携し、定型作業を自動化していけば、職員1人当たりの労働生産性を上げていけるかもしれないと期待しています」(石井氏)

あなたはどのRPAを選ぶ?

kintone×UiPath

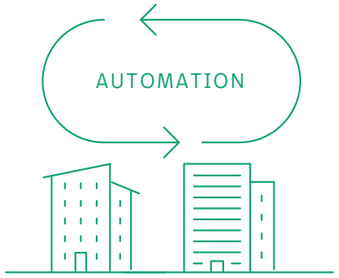
POINT 1 kintoneとUiPath連携が加速する現場主導のDX

kintone上の定型業務はもちろん、kintoneと社内システムをAPI連携させることで、広範な業務を自動化します。

ローコード開発が可能な両ツールの連携により、アジャイルな開発と継続的な改善を実現し、現場主導で企業全体のDXを加速します。

POINT 2 中堅・中小企業から大企業まであらゆる規模のビジネスを自動化

現場作業の自動化から企業の業務全体の自動化まで、ニーズに応じて柔軟に規模を拡大できます。現場ユーザー開発による自動化と、プロフェッショナル開発による全社的な業務の自動化を組み合わせることで、企業全体の業務改革に高い効果を発揮します。



POINT 3 ビジネス変革を実現する迅速・柔軟なオートメーション展開

企業全体の効率化、高速化、レジリエンスを加速するUiPath Business Automation Platformをフル活用することで、より大きな利益と有益な成長、顧客満足度と従業員満足度の向上、コスト構造の変革を実現します。

オートメーションを軸に、発見、自動化、運用のあらゆるフェーズで劇的改善を目指しませんか?

1. 発　見 - プロセスやタスクの改善ポイントを継続的に発見し、改善効果の高い領域を特定
2. 自動化 - UIとAPIをベースとしたオートメーションにAIを統合し、幅広い業務プロセスを効率化・高速化
3. 運　用 - 信頼性の高い運用プラットフォームで、自動化プロジェクトの大規模展開と最適化

もっと詳しく! https://www.uipath.com/ja/blog/corporate/kintone-2021-06-10

kintone × UiPathで

紙とExcelによる業務を改革 UiPathとの連携で 業務効率も大幅に改善

企業名:みずほ信託銀行株式会社
企業規模:3,265名
業種:承継/相続や不動産、金銭・有価証券の運用をはじめとした信託業務
利用目的:本部―営業店間の情報連携高度化、顧客管理、案件管理、RPA

みずほ信託銀行 株式会社
リテール・事業法人推進部 営業推進室
室長 薮内 崇 氏
調査役 勝股 広明 氏
調査役 片山 裕紀 氏
調査役 坂本 篤 氏

背景・課題

少量多品種な業務はシステム化に不向きな一方、紙やExcelによる情報共有に限界が

みずほフィナンシャルグループにおいて承継/相続や不動産、金銭・有価証券の運用をはじめとした信託機能を担っているみずほ信託銀行株式会社。法人向けから個人向けまで、同社が手掛ける商品サービスは多岐にわたり、そのことが業務負荷の増加につながっていた。

「業務の性質上、少量多品種な上、仕様、税制対応の変更も多いため、大規模なシステム化には不向きでした。そのため今までは、紙やExcelを使って本部と営業店との情報共有を行ってきました。10を超えるExcelのリストを本部側で作成、分割、配布し、今度は営業店で各担当者が入力。その後、営業店ごとに集約し、本部に報告してもらっていましたが、すべて手作業で行っていたことで業務の負担が大きくなっていたのです」(薮内氏)これらの課題を解決するため、新たな情報共有基盤を整備し、本部と営業店の情報共有スピードの向上と業務効率化を目指すこととなった。

ツール選定

変化にスピーディーに対応すべく内製化を目指す 開発の簡単さとセキュリティを評価しkintoneを採用

新たな基盤整備に向けて、同社が念頭に置いていたのが「内製化」できる仕組み作りである。「年次で仕様変更・税制対応などが発生する当社の業務は、開発を外部に委託すると、時間がかかり市場の変化に対応できない上、コストもかかってしまうため、内製化が必要でした。」(薮内氏)しかし、本部も営業店もシステム開発を推進できるだけのリテラシーが十分備わっているとは言えない。そこで採用したのがkintoneだ。

「デモを見てすぐに、十分我々でも開発していける、システムを内製化できると直感しました」(薮内氏)さらに、kintoneが金融機関として求めるセキュリティ基準をクリアできることも採用の決め手となった。

導入効果

本部と営業店の迅速な情報共有と業務効率化を実現 RPAを活用した業務改善も大幅に前進

導入後、同社では200を超えるアプリを開発。各所で自主的な業務改善が進んでいる。従来はExcelや紙で伝達していた様々な情報をkintoneに集約するようになったことで、情報共有のスピードと業務効率が向上。「営業店ごとの具体的な施策の進捗状況がすぐに把握できます。成約実績も含めて多くの項目が管理できるようになり、案件の詳細も把握しやすくなりました」(片山氏)開発の容易性についてもkintoneは期待通りの力を発揮している。「アプリ開発が未経験であっても、YouTubeに上がっている動画などを参考にして容易にアプリが作成できました」(坂本氏)さらにkintoneの導入によってRPAシステム「UiPath」を活用した業務改善も大幅に進んだ。特に成果が顕著なのが、各システムからの情報取得をRPAで自動化しているケースだ。例えば「提案書作成(遺言契約)」アプリでは、財産配分案を営業店担当者がkintoneから依頼することでRPAが自動で取得し、提案資料に展開したうえでkintoneを経由し還元されるようになっている。「ほかにも、複数システムから個別収集していた顧客取引情報を代わりに収集しkintone上で還元するなど、手作業で作成していた提案資料の自動作成、RPAを活用した最新の情報の営業店還元により、営業店担当者の日常業務の効率化を実現できるようになりました」(勝股氏)。

今後も同社は、業務の効率化や本部と営業店との情報共有を円滑に行う環境づくりを継続的に行っていく計画だ。

あなたはどのRPAを選ぶ?

kintone×Coopel

Coopel
Robotics Process Automation by DeNA

POINT 1 月額5,940円(税込)のクラウドサービス

1アカウントあたり
¥5,940/月額

低価格で導入しやすい

Coopelはクラウドに特化しているため、手軽な価格で利用できます。「RPAには興味があったのだけど高くて手が出せなかった」「デスクトップ型のRPAは既に導入しているが、2台目としてクラウド型も検討している」という企業におすすめです。

1アカウントから購入可能

Coopelはアカウントごとの課金制。1アカウントから契約でき、スモールスタートが可能です。“RPA導入”というと大掛かりなプロジェクトに思われがちですが、小さく始めることが可能なのがCoopelの特徴です。

中小企業様での導入・活用実績多数

「価格が廉価であること」「機能がシンプルで初心者でも使いやすいこと」から、利用企業の多くが中小企業です。

POINT 2 ゲーム事業を運営してきたDeNAだからこそ提供できる、初心者でも自動化できる分かりやすさ

分かりやすい画面構成・シナリオ作成を実現

Coopelの提供会社であるDeNAは長年モバイルゲームを運用してきました。そこで培ったノウハウを発揮し、「初心者でも使いやすい操作性」を実現しています。

利用方法解説が充実

チュートリアルや画面上での説明が充実しているため、Coopelを実際に操作しながら操作方法を覚えることが可能です。もちろんwebでマニュアルも提供しています。

POINT 3 kintoneと他サービスの連携シナリオのテンプレートを多数用意

kintoneは、Coopelと自動化されるサービスの代表格です。そのため、当社から多数のシナリオテンプレートをご用意しています。ご利用者様はテンプレートを利用し、より簡単に自動化を行うことができます。

POINT 4 30日間の無料お試しで全機能を試すことが可能

クレジットカードの登録などは不要。数分程度で試用アカウントを発行できます。30日間全ての機能を試してみることが可能です。

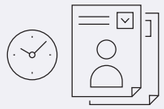
もっと詳しく! https://kintone-sol.cybozu.co.jp/integrate/dena001.html

kintone × Coopelで

kintoneと他のクラウドサービスのデータ連携を自動化

kintoneと他のクラウドサービスの情報連携作業を自動化。
連携頻度を毎分に設定することもでき、きめ細かな連携が可能です。

毎日定期的に実行する業務や、月初に集中して行う繰り返し作業などが発生する部門で活用が進んでいます。例えば、人事や経理、総務といった部門で多数実績があります。



人事

採用活動や入社受入事務処理、日々の労務勤怠管理などの手続き業務

経理・監査

伝票チェック、データ入力
証票などの関連電子ファイル管理

総務

備品の管理・発注 オフィス管理
社内案内など多彩な業務

背景・課題

こんな課題をお持ちの方におススメなのがCoopelとの連携

kintone未導入

・RPAに関心があるが、プログラミングの知識がない
・単純な集計・入力業務に膨大な時間と手間がかかっている

kintone導入済

・kintoneで定期的にCSVダウンロードするのが大変
・kintoneと他ツールのデータ連携をさせたいが、APIを開発するほどでもない
・kintoneで定期実行を行いたい業務がある